神経解剖学#8 超適当に作った穴あきプリント

大脳辺縁系

→これは、(脳幹と脳梁を囲む構造)+辺縁葉と結びつきが強い領域をさす。
情動の発現や、本能に結び付いた行動、記憶に関与する。
○大脳辺縁系に関連する構造を7つ答えよ!
(記憶への関与大)、、、、、、、、、、
(情動への関与大)、
Papez の情動回路
海馬 $ ightarrow$ ()
Yakovlev の回路
扁桃体 \rightarrow () \rightarrow () \rightarrow ()
記憶
記憶の過程としては大きく3つのプロセスがあり、まず情報の()、これは新しい事柄を覚える家庭のことである。そ
して情報の()、これは思い出すまで記憶を保っている過程である。最後に情報の()、これは覚えている事柄を思
い出す過程である。
記憶の種類として、2つある。頭で覚える記憶は、意識に上る記憶であるため(記憶)といわれるものがある。
これは、とくにヒトでは言葉に表せるので(記憶)ともいわれている。その詳しい種類に、エピソード記憶や意味・
知識の記憶などがある。()では様々な情報の処理が行われ、(記憶)となる。また()
領域では記憶が符号化され、(記憶)となる。そして(これの)において記憶は蓄積され、
(記憶)となる。 一方、体で覚える記憶のほうは (記憶)といわれ、意識に上らない。これは
別名、(記憶)ともいう。これには、()と、()と、()と、()
が関与している。
記憶機能と情動機能に密接な関係があるのは、パペッツとヤコブレフの回路に密接な関係があるということである。た
記憶機能と情動機能に密接な関係があるのは、パペッツとヤコブレフの回路に密接な関係があるということである。たとえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用す
とえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用す
とえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用する。
とえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用する。 ※記憶障害(健忘症 という)
とえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用する。 ※記憶障害(健忘症 という) ()健忘症→新しい記憶形成ができない。
とえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用する。 ※記憶障害(健忘症 という) ()健忘症→新しい記憶形成ができない。 ()健忘症→以前の出来事を思い出せない。

神経解剖学#8 超適当に作った穴あきプリント

大脳辺縁系

→これは、辺縁葉(脳幹と脳梁を囲む構造)+辺縁葉と結びつきが強い領域をさす。

情動の発現や、本能に結び付いた行動、記憶に関与する。

○大脳辺縁系に関連する構造を 7 つ答えよ!

海馬(記憶への関与大)、海馬傍回、帯状回、島皮質、脳弓、扁桃体(情動への関与大)、乳頭体

Papez の情動回路

(海馬)→(脳弓)→(乳頭体)→(視床前核)→(帯状回後部)→(海馬傍回)→(海馬)

海 の にゅう し たい かい リターンズ!

(再び海馬に戻ってくるので リターンズ! とおぼえる。)

Yakovlev の同路

(扁桃体)→(視床背内側核)→(帯状回前部)→(前頭葉下面)→(扁桃体)

へんな 師匠 退場!(全部) 前頭葉 リターンズ!

(語呂合わせが非常に苦しいですが、なんとか。)

記憶

記憶の過程としては大きく 3 つのプロセスがあり、まず情報の(記銘)、これは新しい事柄を覚える家庭のことである。 そして情報の(保持)、これは思い出すまで記憶を保っている過程である。最後に情報の(再生)、これは覚えている事柄を 思い出す過程である。

記憶の種類として、2つある。頭で覚える記憶は、意識に上る記憶であるため(顕在記憶)といわれるものがある。これは、とくにヒトでは言葉に表せるので(陳述記憶)ともいわれている。その詳しい種類に、エピソード記憶や意味・知識の記憶などがある。(大脳皮質連合野)では様々な情報の処理が行われ、(即時記憶)となる。また(海馬)領域では記憶が符号化され、(短期記憶)となる。そして(大脳皮質連合野)において記憶は蓄積され、(長期記憶)となる。 一方、体で覚える記憶のほうは(潜在記憶)といわれ、意識に上らない。これは別名、(手続き記憶)ともいう。これには、(大脳皮質運動前野)と、(大脳基底核)と、(小脳)が関与している。

記憶機能と情動機能に密接な関係があるのは、パペッツとヤコブレフの回路に密接な関係があるということである。たとえば感情の高ぶりはエピソード記憶の強化を引き起こすし、意欲や興味があるものは効果的に記憶システムが作用する。

※記憶障害(健忘症 という)

(前向性)健忘症→新しい記憶形成ができない。

(逆行性)健忘症→以前の出来事を思い出せない。

(海馬)での障害は、記銘部位の障害にのみとどまる。(<mark>乳頭体</mark>)や(<mark>視床</mark>)での障害は、記銘部位と再生部位の両方の障害を引き起こす。ちなみに認知症は、記銘部位の障害だけでなく、貯蔵部位の障害までおきるからそうなる。